会員報告

八坂神社で初詣

兵庫頸髄損傷者連絡会　土田浩敬

みまさま、こんにちは。

寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今回私は元日、京都の八坂神社へ雪が降る中、初詣へ行って来ました。沢山の参拝客が予測される中行って来ました。みなさまの参考になるか分かりませんが、報告させて頂きます。

一人暮らしをはじめて３年目、よく感じる事なのですが一人暮らしをしていると季節感が余り無いのです。家族と暮らしていた頃は、お正月にお雑煮、おせちを食べて親戚いとこ達とテレビを見ながらおしゃべりをして、桜が咲いたらお花見に行き、夏は海へ行き、秋は紅葉やコスモスを見に行って、クリスマスはケーキを食べて…と色々ありましたが、１人ではなかなかやらない事に気づきました。なんだか少し寂しいと思うようになり、もっと季節を感じられる所へ行って楽しみたいと考えるようになってきました。そこで年明け早々、ここ２年初詣へ行ってなかったので、行くのなら以前から行きたかった八坂神社がいいと思い計画を立てました。

元日の天気予報は曇りのち雪。しかも猛烈な寒波がやってくるとの事…もちろん気温も高めで快晴ならば、言うことなしなのですが、よりによって雪。もうこれは逆に雪を楽しむ勢いで行かなければ心が折れてしまう。寒い中出掛けて行く自分にたいし、自らの気持ちを奮い立たせ出発しました。八坂神社へ向かう道中は穏やかに晴れて、電車の中も暖かくて快適です。外を見ても雪が降る気配すら無く、これは嵐の前の静けさでしょうか。電車を乗り継ぎ無事に京都の四条へ到着。晴れているとはいえ、凍てつく様な寒さです。早く屋内へ入ってお昼ご飯を食べようという事で、にしんそばで有名な老舗のお店へ入店しました。計画段階でこのお店へ入ると決めていました。開店して直ぐに入ったので待たなくてよかったです。車椅子ではエレベーターに乗る事が出来ないので、カウンターの奥にある休憩するスペースへ、通してもらいました。以前、祇園祭で来た際も通してもらったので、今回も快く案内してもらいました。にしんそばを注文し、出来上がって運ばれてきました。見た目は透き通ったダシに、にしんの甘露煮が乗っかってシンプルです。あっさり上品な味で、そばの喉越しもよく、長年愛されてきた味なんだなと思いを馳せながら完食。程よく身体も温まり、八坂神社へ向かいます。

にしんそば

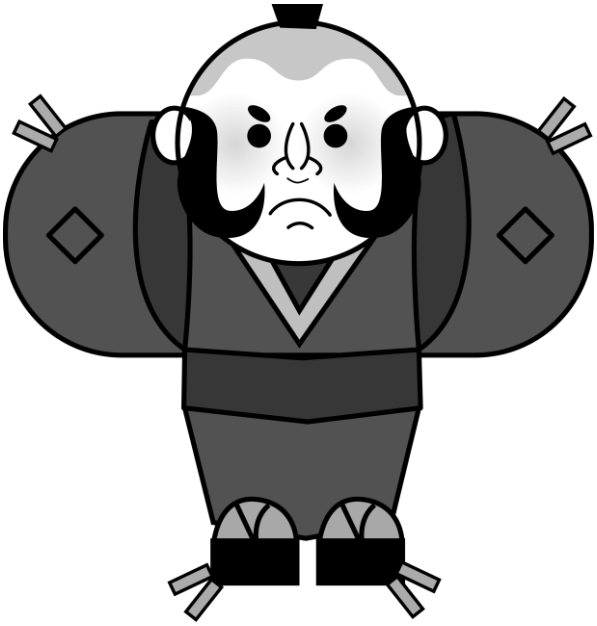
徐々に人も増えてきて前方が見えなくなってきました。周りの人も車椅子が余り見えておらず、不安もありましたが無事に八坂神社前までたどり着きました。事前に八坂神社へ、どのようにして境内へ入れば良いか伺っていました。右へ曲がって駐車場の方へ行き、そのまま真っ直ぐ行くと…あれっ階段で通行不可能。介助者と右往左往し少しだけ躊躇して結局分からなかったので、警備員の方に聞きました。どうやら、神社の隣にある建物の中を通っていくようで、ようやく境内へ入る事が出来ました。初めから分かっていた事ですが、人の量はとても多いです。

少し進むと、人もばらけてきて車椅子で動き易くなってきました。晴れていた空も曇ってきて北風も強くなってきました。そうすると、ちらほらと雪が…これくらいの雪だったら、まだ風情があっていいなと思いながら、さい銭を入れて参拝を

すませました。参拝後、おみくじを引いたら見事大吉！意気揚々と八坂神社を後にしました。

屋台がたち並びいい雰囲気

隣の建物内で厄除けぜんざいという物があり、寒かったので注文し、冷えた体を温めひと休憩。体も温まり、さあ出発しようと外へ向かうと猛烈な雪が…少し踏みとどまり考えたのですが、雨ではないからずぶ濡れにはならないだろうと介助者と軽く打ち合せをして外へ出てみます。ずぶ濡れにはなりませんが、体にみるみると雪が積もって行きます。介助者が懸命に雪を払ってくれるのですが、間に合いません。四条通沿いには屋根があるので、どうにかこうにか屋根の下へたどり着きました。この頃になると、人の量はピークになり、なかなか前へ進み辛いです。やっとの思いで駅に到着。やはり人は多かったですが、予定通りに帰宅する事が出来ました。

厄除けぜんざい

今回は初詣に八坂神社へ行ってきた訳ですが、人の量に関しては午前中、お昼頃はまだマシでしたが、14 時頃からとても多かったと思います。大吉だったにも拘らず、大雪に見舞われ人ごみに揉まれましたが、元日に初詣に行く事が出来たという充実感は、何物にも代えられませんでした。寒い思いもしましたが、行ってよかったです。みなさまも、季節の行事に参加してみると、新たな発見そして風情に出会えるかもしれません。